2025
令和7年7月8日
第11号
（通算170号）

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW！

1 恩師に嬉しい成果報告！

県立水戸第二高等学校

（左から）栗本絵里教諭、野村未結さん、薗部尊礼教諭

（左から）野村未結さんと恩師の栗本絵里教諭

システムコース２年の野村未結さんが、進路内定などの成果を恩師に報告しました。

訪問した水戸第二高等学校の栗本絵里教諭（２，３年次担任）は、「野村さんは、理系でプログラムに興味があり、大学校で学べて良かった」と笑顔で話されていました。また、当時学年主任の薗部尊礼教諭は「真面目に取り組み成果をあげている」と嬉しそうに話されていました。

担任の先生と久しぶりの再会で、玄関先までお見送り頂きました。

Keimei 水戸啓明高等学校

（左から）髙木皓貴さん、恩師の米澤阿来教諭

（左から）恩師の米澤阿来教諭と髙木皓貴さん

システムコース２年の髙木皓貴さんが、資格取得や進学などの成果を恩師に報告しました。

訪問した水戸啓明高等学校の米澤阿来先生は「高校時代の担任として気になっていましたが、資格も取り、進路も決めて報告に来てくれて嬉しい」と笑顔で話されていました。

髙木さんは、「米澤先生は生徒に寄り添い、とても面倒見のいい先生です。感謝」と笑顔で振り返っていました。

2 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞読売新聞（2025年６月21日）
翻訳サービス教育現場に

●川井統真さん（常磐高卒）
◇要約：近年、在留外国人の増加に伴い、学校で外国籍の児童・生徒が増えている。そこで、コニカミノルタはタブレット端末などを使った多言語翻訳サービスであるコトバルを教育現場に展開する。
23言語に対応しており、AIを用いて自動翻訳することで、意思疎通の支援を行う。
◇感想：自分も外国籍の方と話すときに上手く意思疎通が取れないことがあるので、自動翻訳によって言語の壁をなくせるのは良いと思った。
一方で、翻訳だけに頼らずに、自分自身で英語などの外国語を話せるようになるのも大切だなと思った。

●竹内　結さん（日航高卒）
◇感想：言語の壁により授業を満足に受けられなかったり、友達の会話という楽しみが失われてしまうのはとても辛いことだと思った。AIなどの技術は、こうした壁を壊すのにも使われることを知り、早急に進歩して欲しいと思った。

●佐藤大輝さん（石岡一高卒）
◇感想：日本に住む外国人の子供たちにとって、学校での言葉の壁は大きな課題だと思います。翻訳サービスの導入によって、子供たちが安心して学べる環境が整うことはとても良いことだと感じました。今後は、こうしたサービスを更に広げて欲しい。

●滝本陽姫さん（常磐高卒）
◇感想：これを使えば、英語を勉強していなくても、外国人と話したりコミュニケーションが取れて便利だと思いました。
私は洋画や洋楽が好きなので、英語を聞いてすぐに理解できるようにしたい。英語の勉強も頑張ろうと思う。

●水地穂吏さん（常磐高卒）
◇感想：約３割の外国籍児童が日本語の授業を理解していないとの調査があり、翻訳サービスは有効な手段だと感じた。
また、言語は重要なコミュニケーション手段なのでコトバルを上手に活用しながら言語学習にも力を入れていきたい。

茨城県立産業技術短期大学校
URL http://www.ibaraki-it.ac.jp/　E-mail:kyoumu@ibaraki-it.ac.jp
〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029−269−5500